２６．１１．２７
杉並区広報課

小学生が商店街で店番を体験しました

２７日（木曜）、杉並区立天沼小学校の３年生８５名が、荻窪教会通り商店街で「お店番体験」を行いました。これは、キャリア教育の一環として、働くことの意義やマナーを学ぶため、区立天沼小学校と荻窪教会通り商店街が協力して、平成２０年度の開校から実施している取り組みです。商店街の店主や、買い物客があたたかい眼差しで見守る中、子どもたちは元気に掛け声をかけながら仕事に励んでいました。

区立天沼小学校（校長：福田晴一、住所：天沼２－４６－３）では、キャリア教育の一環として荻窪教会通り商店街と協力し、３年生での「お店番体験」を実施しています。この取り組みは、子どもたちが働くことの意義やマナーを学ぶため、学校と地域が協力し、開校した平成２０年度にはじまりました。今回で７回目になります。

荻窪教会通り商店街には様々なお店が８２店舗あります。１学期、子どもたちはこれらのお店について店主にインタビューするなど、自分たちが働く商店街について調べました。２学期には、近隣の区立天沼中学校の２年生から、職場体験で学んだマナーを教えてもらうなど、しっかり店番ができるよう事前学習を進めてきました。

本日、２７日、いよいよ「お店番体験」の本番を迎えました。「お店番体験」は青果や和菓子、文具など１８店舗で実施。３年生の児童８５名が、午前と午後に分かれ、２～５人程度のグループで、約１時間お店に立ちました。児童は、大きな声で来店者に挨拶したり、お薦めの商品を紹介するなど、きびきびと仕事に励んでいました。

煎餅店で接客をしていた女子児童は「初めての体験で大変だけど、お客さんに声をかけて、話ができると嬉しい」と感想を話してくれました。

また、荻窪教会通り商店街の会長、田貝孝さん（７３歳）は「子どもたちがいると賑やかです。お店番体験を通じて顔見知りになれるし、終わってからも「おかえり」などと言ってコミュニケーションがとれる。あの子はどこの子かって分かるんです。地域のつながりが育ちます」と言って、学校に協力し、子どもたちの成長を一緒に見守ることの大切さを語ってくれました。

子どもたちは、商店街の店主や買い物客のあたたかい眼差しを受けながら、人と関わって働くことの喜びを感じた様子でした。

【問い合わせ先】
区立天沼小学校　　ＴＥＬ：３３９２－６４２８
総務部広報課　　ＴＥＬ：３３１２－２１１１（代表）